

Technics®



ステレオインテグレートッドアンプ 取扱説明書

品番 SU-V500M2



上手に使って上手に節電

保証書別添付

このたびは、ステレオインテグレートッドアンプをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと保存し、必要なお読みください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。



この取扱説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

RQT4671-S

準備

付属品.....	2
安全上のご注意.....	3
各部のなまえ.....	5
リモコンの準備.....	5
乾電池の入れかた.....	5
リモコンの使いかた.....	5
接続.....	6
各機器との接続.....	6
スピーカーの接続.....	7
電源コードの接続.....	7

演奏

演奏を楽しむ.....	8
左右の音量バランスの調整.....	9
音質の調整.....	9
ヘッドホン(別売り)で聞くには.....	9

録音

録音する.....	10
CD などからテープへ録音するには.....	10
テープからテープへ録音するには.....	10

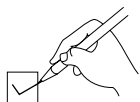
リモコン

リモコンを使う.....	11
アンプを操作する.....	11
チューナーを操作する.....	11
CD プレーヤーを操作する.....	12
カセットデッキを操作する.....	12

ご参考

故障かな!?	13
お手入れ.....	13
保証とアフターサービス.....	14
主な仕様.....	うら表紙

付属品



設置 / 接続の前にまず付属品を確かめてください。



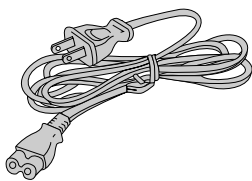
電源コード.....1本



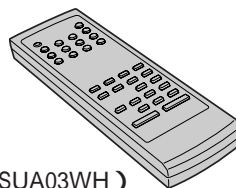
リモコン.....1コ



単3形乾電池.....2コ



(品番 : SJA161A-1)



(品番 : RAK-SUA03WH)



付属品の買い替えは、お買い上げの販売店へご相談ください。
かっこ内の数字は買い替え時の品番を表します。

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は、絵表示の一例です。)



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。



この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

電源コード

電源コード・プラグを破損するようなことはしない

傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしない。



- 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

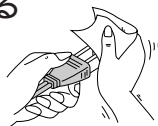
ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない



- 感電の原因になります。

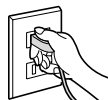
ぬれ手禁止

電源プラグのほこり等は定期的にとる



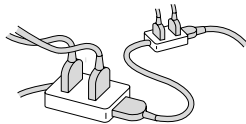
- プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。
- 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む



- 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。
- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100V 以外での使用はしない



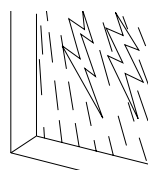
- たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

雷

雷が鳴ったら、機器や電源プラグに触れない



接触禁止



- 感電の恐れがあります。

使用方法

機器内部に金属物を入れたり、水をかけたり濡らしたりしない



- ショートや発熱により火災や感電の原因になります。
- 機器の上に液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

分解、改造をしない



分解禁止

- 内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。
- 内部の点検や修理は、販売店へご相談ください。

もし異常が起きたら

以下のようなときは電源プラグを抜く



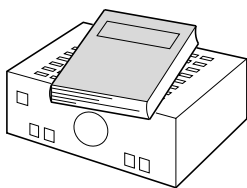
電源プラグを抜く

- 機器内部に金属や水、異物が入ったとき
- 煙や異臭、異音が出たり、落下、破損したとき
- そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 販売店にご相談ください。

⚠ 注意

設置・接続

放熱を妨げない



- 内部に熱がこもると、機器のケースが変形したり、火災の原因になります。

以下のことを守り 正しく設置する

- 不安定な場所に置かない
- 上に大きなもの重いものを載せない
- スピーカーを壁や天井に取り付けない



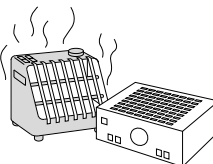
- 機器が落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。

油煙や湯気の当たるところ や湿気やほこりの多いところ に置かない



- 電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災や感電の原因になることがあります。

異常に温度が高くなる ところに置かない



- 機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。
- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

乾電池

以下のことを守り 正しく取り扱う

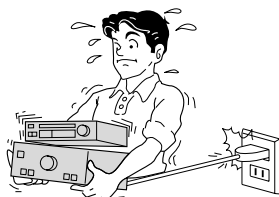
- + と - は正しく入れる
- 新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使用しない
- 乾電池は充電しない
- 加熱・分解したり、水、火の中へ入れたりしない
- 長時間使用しないときは、取り出しておく
- ネックレスなどの金属物といっしょにしない
- 乾電池の代用として充電式電池を使わない。



- 取り扱いを誤ると、電池の液もれにより、火災や周囲汚損の原因になります。
- 万一液もれが起こったら販売店にご相談ください。
- 液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

使用方法

コードを接続した状態で 移動しない



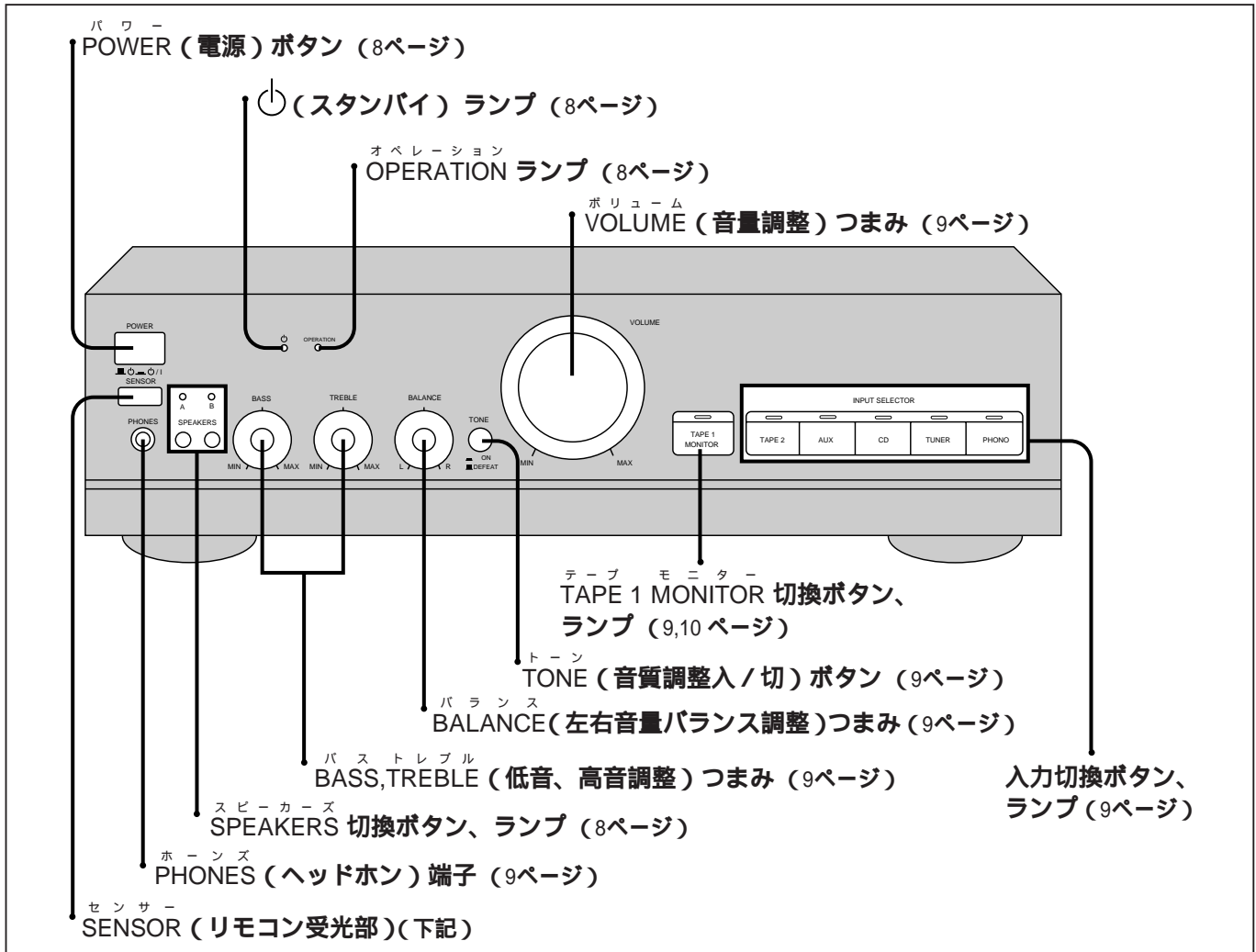
- 接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき火災や感電の原因になることがあります。
- また、引っかかって、けがの原因になることがあります。

ヘッドホン使用時は、 音量を上げすぎない



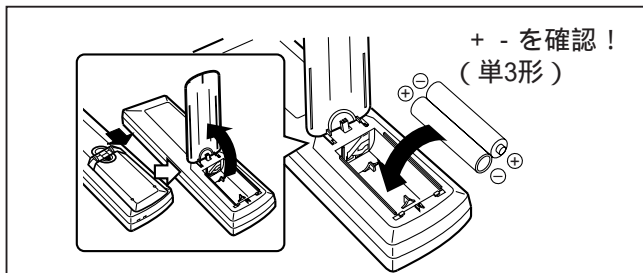
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

各部のなまえ



リモコンの準備

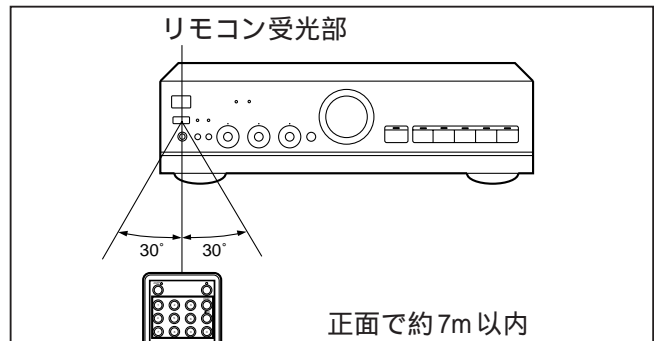
乾電池の入れかた



リモコンの使いかた

使用上のお願い

- 受光部とリモコンの間に障害物は置かない。
- 受光部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光を当てない。
- 受光部とリモコン先端のほこりに注意。



故障防止のために

- 分解、改造しない。
- 重いものを載せない。
- 直射日光の当たるところに放置しない。
- ジュースなど液状のものをこぼさない。

本体をラックに入れて使用するとき
ラックのガラス扉の厚さや色などによって、リモコンの動作距離が短くなることがあります。

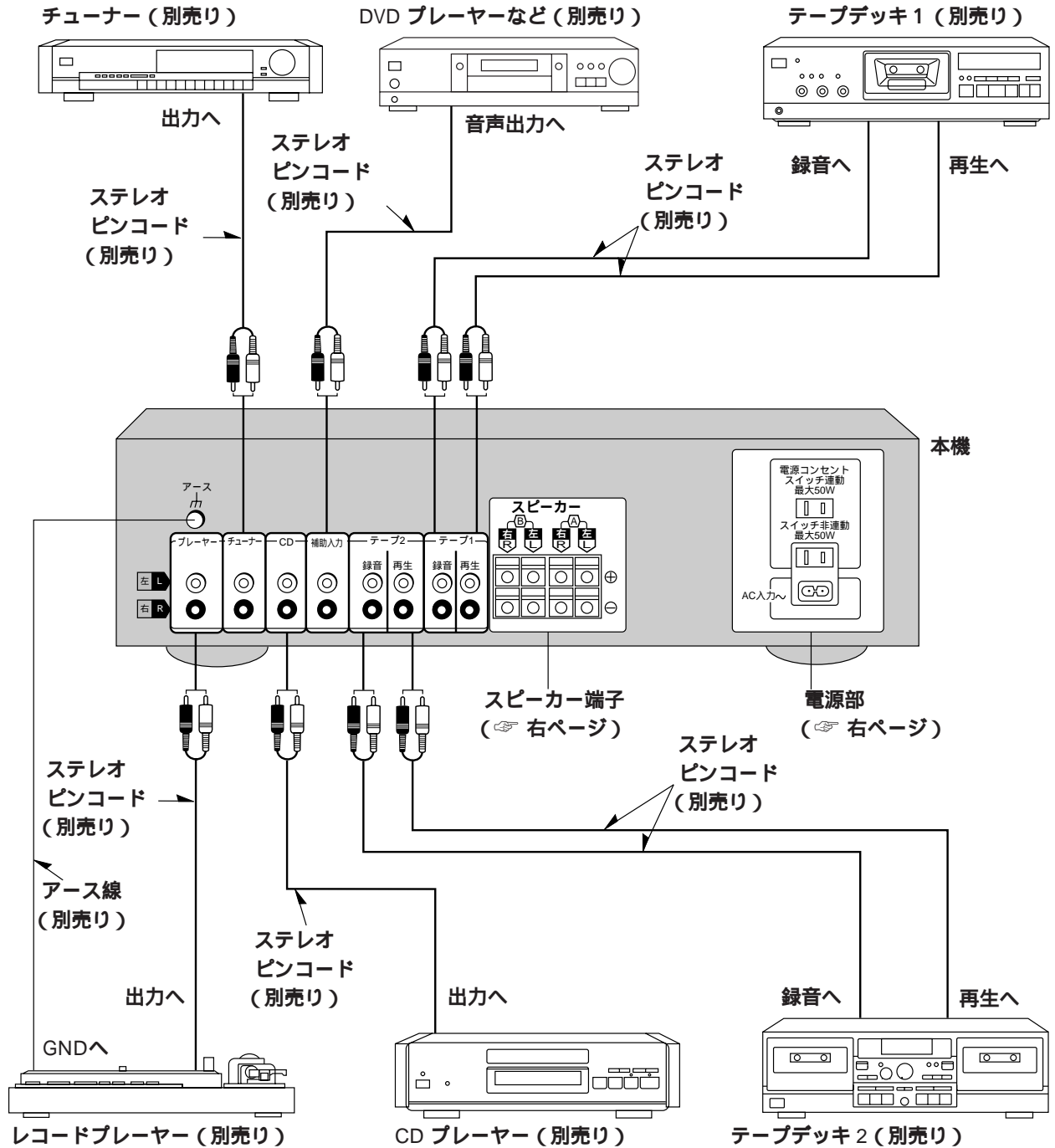
各機器との接続

ステレオピンコード（別売り）で、本機と各機器を接続します。接続時には必ず各機器の電源を切ってください。

お願い

本機の上へテープデッキや CD プレーヤーを載せないでください。テープや CD ソフトが放熱温で損傷を受けることがあります。

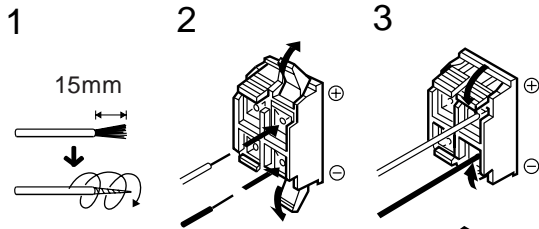
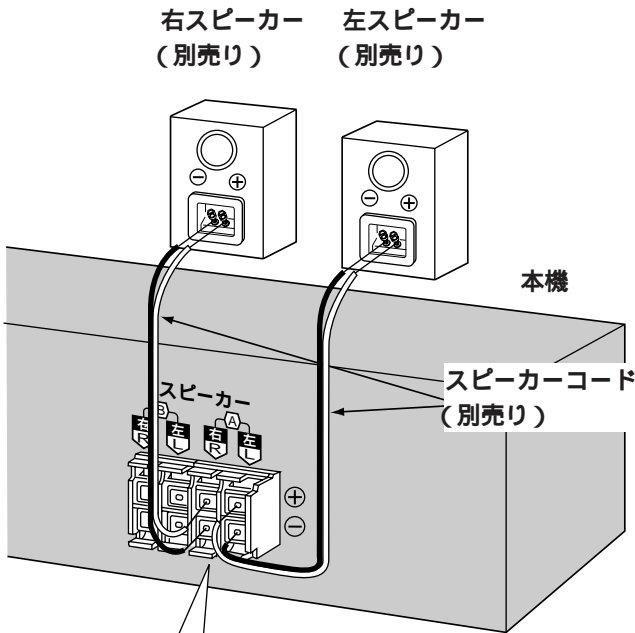
ステレオピンコードの接続は



お知らせ

GND端子のないレコードプレーヤーの場合、アース側の接続は不要です。

スピーカーの接続



お願い

スピーカーコードの +、- はショートさせないでください。回路が破損することがあります。

B端子について

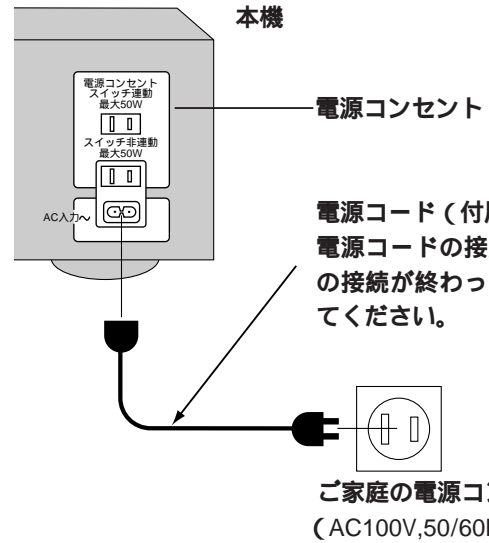
2組目のスピーカーが接続できます。

スピーカーのインピーダンスについて

AかBを単独で使用する時：
4~16 Ωのスピーカーをご使用ください。

AとBを同時に使用する時：
8~16 Ωのスピーカーをご使用ください。

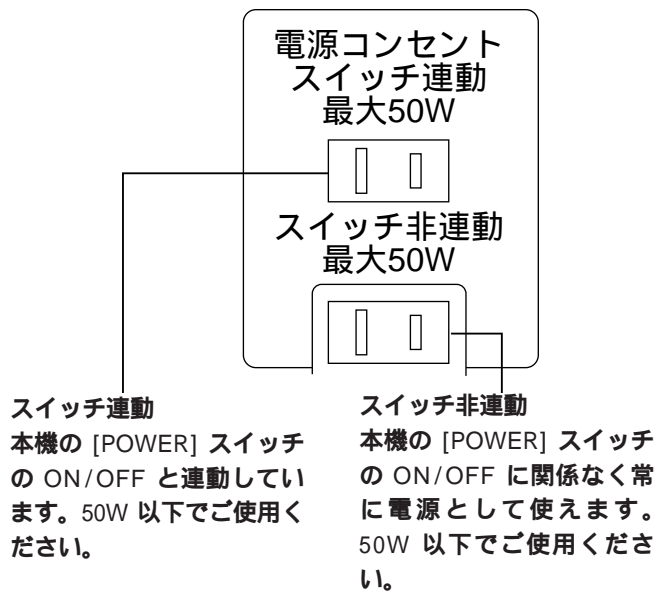
電源コードの接続



長期間使用しないときは節電のための電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いておくことをおすすめします。
([POWER] ボタンで電源を切った状態でも、約5.9Wの電力を消費しています。)

電源コンセントについて

オーディオ機器専用です。表示電力以下でご使用ください。



演奏を楽しむ

準備

[VOLUME] を “ MIN ” (最小) にしてください。

1

[POWER] を押す。
約1秒後に “ OPERATION ” ランプ
が点灯します。

2

[SPEAKERS] を押し、使用するスピーカーを選ぶ。
ボタン[A], [B]は後面スピーカー端子 “ A ”, “ B ” に対応しています。
選んだスピーカーのランプが点灯します。

● A ○ B : Aスピーカーを使うとき

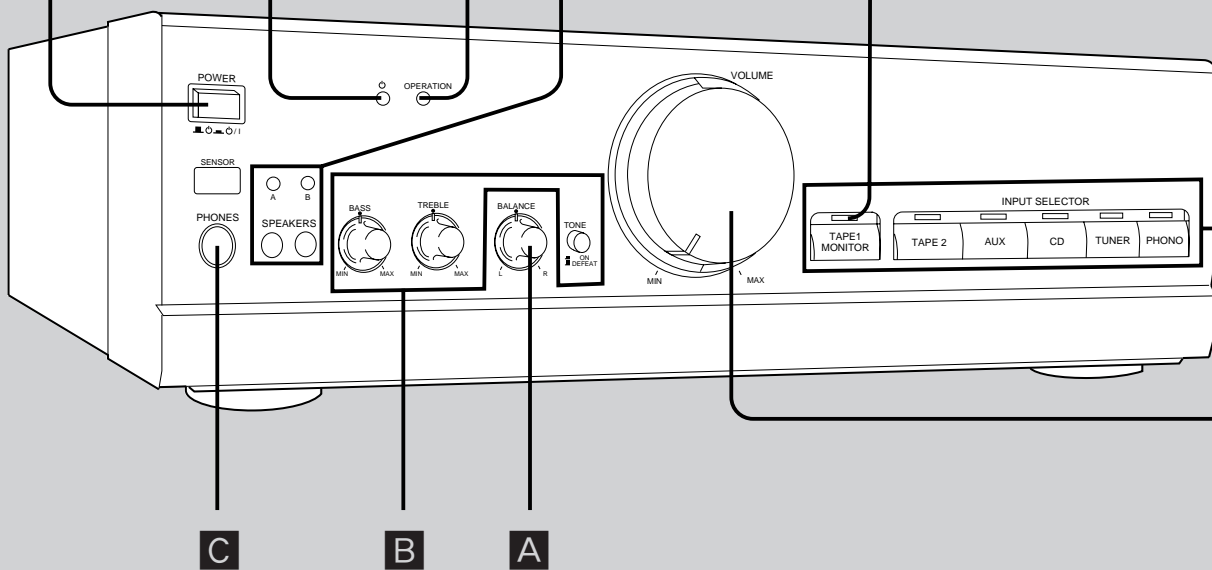
○ A ● B : Bスピーカーを使うとき

● A ● B : AスピーカーとBスピーカーを同時に使うとき

○ A ○ B : スピーカーの音が不要のとき

“ ⏻ ” ランプ “ OPERATION ” ランプ

“ TAPE 1 MONITOR ” ランプ



“ ⏻ ” ランプについて

[POWER] が のときに、リモコンで電源を切ると点灯します。これは、リモコンによる電源操作のために微量の電力消費が行われていることを示しています。

“ OPERATION ” ランプについて

本機が正常な動作の時点灯します。
スピーカーコードの + - がショートしたときや、出力に直流電圧が発生したときなど回路の異常を検出したときは、本機の保護回路が働きランプが消えます。保護回路が働いた場合の処理については 13 ページの「故障かな!？」をご覧ください。

3

入力切替ボタンを押し、ソースを選ぶ。
ボタンの上のランプが点灯します。

TAPE 1 MONITOR : テープデッキ 1 を演奏
するとき “ TAPE 1
MONITOR ” が点灯し
ます(下記参照)

TAPE 2 : テープデッキを演奏するとき

AUX : “ 補助入力 ” 端子に接続した機器を
演奏するとき

CD : CD プレーヤーを演奏するとき

TUNER : ラジオ放送を聞くとき

PHONO : レコードプレーヤーを演奏する
とき

4

選んだソースの演奏を始める。
(各機器の説明書をご覧ください。)

5

[VOLUME] を回し、音量を調整する。

ご使用後は

[VOLUME] を “ MIN ” (最小) にし、本機および各機器
の電源を切ってください。

“ TAPE 1 MONITOR ” ランプが点灯しているとき
テープモニター機能が働いていることを示しています。
TAPE 1 以外のソースを聞くには、[TAPE 1 MONITOR] を
押して消灯させてください。

A 左右の音量バランスの調整

BALANCE



通常は中央の位置にしてください。つま
みを回した方向へ音量バランスが片寄り
ます。

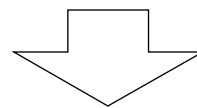
B 音質の調整

通常は [TONE] を “ ■ DEFEAT ” の位置 (周波数特性が
フラットな状態) してお聞きください。好みの音質に調
整したい場合は、下記の方法で行ってください。

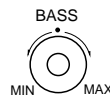
TONE



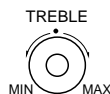
[TONE] を “ ■ ON ” にする。



好みの音質に調整する。



[BASS] つまみ
低音域を調整します。

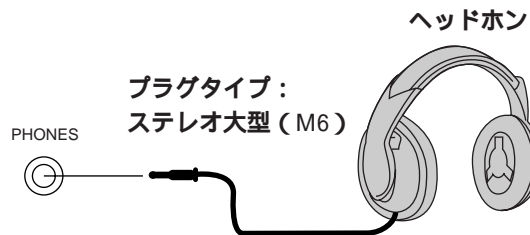


[TREBLE] つまみ
高音域を調整します。

調整前の音質 (周波数特性がフラットな状態) に戻るとき
は、[TONE] を “ ■ DEFEAT ” の位置にしてください。

C ヘッドホン (別売り) で聞くには

●必ず [VOLUME] で音量を絞ってから接続してください。

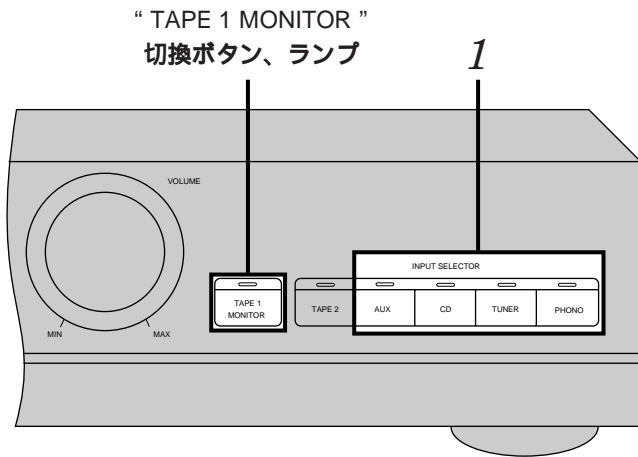


- スピーカーの音が不要な場合は、[SPEAKERS] を押し、
A, B のスピーカーランプを消灯させてください。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間聞くことは避け
てください。

録音する

CDなどからテープへ録音するには

後面の“補助入力(AUX)”、“CD”、“チューナー”、“プレーヤー”の各端子に接続された機器から“テープ1”または“テープ2”の各端子に接続されたテープデッキへ録音できます。



1

録音したいソースを選ぶ

AUX: “補助入力”端子に接続した機器から録音するとき

CD: CDを録音するとき

TUNER: ラジオ放送を録音するとき

PHONO: レコードを録音するとき

2

テープデッキで録音を始める。

(各機器の操作や録音レベルの調整については、それぞれの説明書をご覧ください。)

3

ソースの演奏を始める。

お願い

“テープ2”端子に接続しているテープデッキに録音するときには“TAPE 1 MONITOR”ランプが消灯していることを確認してください。

“TAPE 1 MONITOR”ランプが点灯していると、“テープ2”端子に接続しているテープデッキでは録音できません。

お知らせ

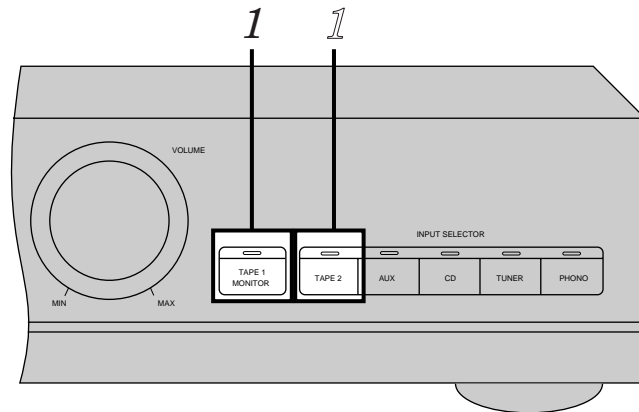
“テープ1”、“テープ2”のどちらの端子にもテープデッキを接続しているときは、2台のテープデッキに同時に録音することができます。

テープモニターをするには

3ヘッドのテープデッキを“テープ1”端子に接続してご使用の場合は、録音中にテープに録音された音を聞くことができます。

テープからテープへ録音するには

テープデッキ1からテープデッキ2、またはテープデッキ2からテープデッキ1へ録音できます。



テープデッキ1からテープデッキ2へ録音するには

1

[TAPE 1 MONITOR] を押し、“TAPE 1 MONITOR”ランプを点灯させる。

お知らせ

入力切換ボタンは“TAPE 2”以外になっていることを確認してください。

“TAPE 2”になっていると録音できません。

2

テープデッキ2で録音を始める。

3

テープデッキ1で再生を始める。

テープデッキ2からテープデッキ1へ録音するには

1

[TAPE 2] を押し、“TAPE 2”ランプを点灯させる。

2

テープデッキ1で録音を始める。

3

テープデッキ2で再生を始める。



本機の [TAPE 1 MONITOR] を押し、“TAPE 1 MONITOR”ランプを点灯させる。

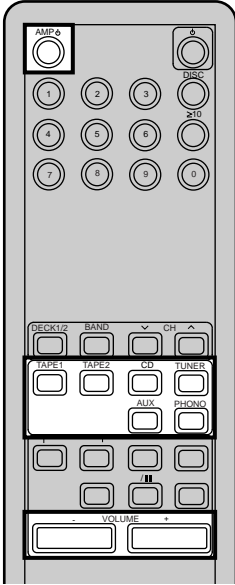







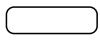

テープデッキのテープモニターボタンは“TAPE”にしてください。

リモコンを使う

本機その他、リモコンセンサーを備えた当社製のチューナーや CD プレーヤー、カセットデッキを本リモコンで操作できます。
(ただし一部の機種では操作できません。)

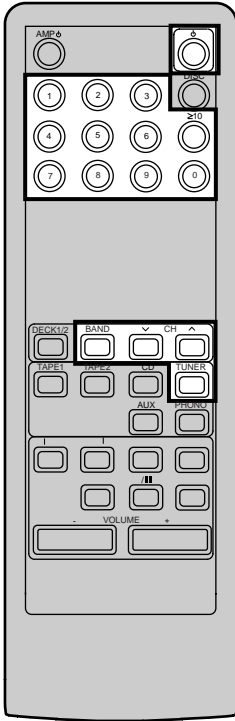





各操作について詳しくは、それぞれの機器の説明書をご覧ください。
リモコンは各機器のリモコン受光部に向けて操作してください。

アンプを操作する

<p>あらかじめ、アンプの電源を「入」にしてください。</p> 	電源を入/切する	AMP 
	入力ソースを切り換える	TAPE 1  TAPE 2  CD  TUNER  AUX  PHONO 
	音量を調整する	- VOLUME +  

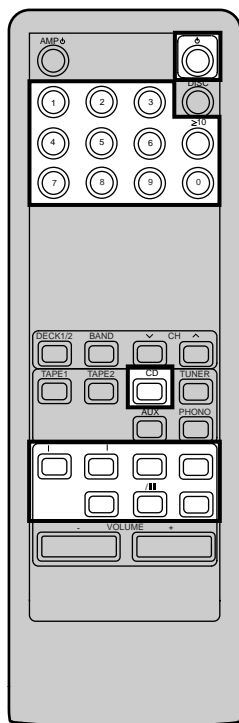
[TAPE 1] を押すとアンプのテープモニター機能が「入」になります。[TAPE 1] 以外のボタンを押すと、テープモニター機能は「切」になります。

チューナーを操作する

<p>あらかじめ、チューナーの電源を「入」にしてください。</p> 	リモコンをチューナー操作モードにする	TUNER 	以下の操作を行う前に、必ず押してください。	
	チューナーの電源を入/切する			
	チャンネルを順送りで選ぶ	CH  		
	チャンネルを直接選ぶ	① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ≥ 10 ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ 数字キーでチャンネルを指定する (例: チャンネル1 を選ぶ場合 ① 例: チャンネル10 を選ぶ場合 ≥ 10 → ① → ⑩)		
	バンド (FM/AM) を選ぶ	BAND 	ボタンを押すごとに、バンドが切り換わります。 FM AM	

CD プレーヤーを操作する

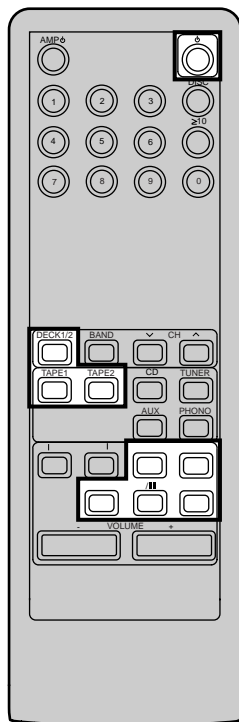
あらかじめ、CD プレーヤーの電源を「入」にしてください。



リモコンを CD 操作モードにする		以下の操作を行う前に、必ず押してください。
CD プレーヤーの電源を入/切する		
演奏を始める		
好みの曲から聞く	 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ≥ 10 ⑦ ⑧ ⑨ ⑩	例：曲番 1 を選ぶ場合 ① 例：曲番 10 を選ぶ場合 ≥ 10 → ① → ⑩
曲を前後に飛び越す	 ▶▶ : 前進する ◀◀ : 後退する	
早送り・早戻しをする	(演奏中または一時停止中に) ▶▶ : 早送りをする ◀◀ : 早戻しをする	
演奏を一時停止する		再び始めるには[]を押す。
演奏を止める		

カセットデッキを操作する

あらかじめ、カセットデッキの電源を「入」にしてください。



リモコンをデッキ操作モードにする。	 同時にアンプの入力ソースも切り換わります。	以下の操作を行う前に、必ず押してください。
カセットデッキの電源を入/切する		
デッキ1とデッキ2を切り換える (ダブルカセットデッキのみ)		ボタンを押すごとにデッキ 1 とデッキ 2 が切り換わります。
再生を始める	 ▶ : おもて面から再生 ◀ / : うら面から再生	
早送り・巻き戻しをする	 ▶▶ : 早送りをする ◀◀ : 巻き戻しをする	TPS機能付きカセットデッキの場合再生中に押すと、曲の頭出しが行えます。
再生を止める		

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。

なお、これらの処理をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

こんなときは	ここをご確認ください	処置	参照ページ
電源が入らない。	電源プラグがはずれていませんか。	確実に差し込む	7
電源を入れても音が出ない。	スピーカーコードの+と-がショートしていませんか。	一度電源を切り、ショートしないように接続し直し、再度電源を入れる。	7
	入力切換ボタンを他のソースにしていませんか。	ソースを確かめ、正しい位置にする。	9
	スピーカーランプが消灯していませんか。	使用するスピーカーに合わせてSPEAKERS 切換ボタンを押す。	8
	テープモニター状態になっていませんか。(“TAPE 1 MONITOR”ランプが点灯している。)	テープデッキ(TAPE 1)以外のソースを聞くときは[TAPE 1 MONITOR]を押してランプを消灯させる。	9
片側のスピーカーだけ音が出ない。	スピーカーコードが外れていませんか。	正しく接続する。	7
	左右音量バランス調整つまみが左右どちらかに寄っていませんか。	左右スピーカーの中央から音が聞こえるようにする。	9
各楽器の位置が定まらない。	片方のスピーカーコードを+、-逆に接続していませんか。	正しく接続する。	7
左右の音が逆になる。	スピーカーコードを左右逆に接続していませんか。	正しく接続する。	7
	各機器の接続が左右逆になっていませんか。	正しく接続する。	6
演奏中にブーンという低い音(ハム音またはバズ音)が入る。	接続コードの近くに蛍光灯などの電気器具やその電源コードがありませんか。	蛍光灯または他の機器の電源コードをできるだけ離してみる。	-
リモコンが動作しない。	乾電池の+、-が逆に入っていませんか。	+、-を正しく入れる。	5
	乾電池が消耗していませんか。	新しい乾電池と入れかえる。	5
演奏中に音が出なくなった	“OPERATION”ランプが消灯していませんか。(消灯のときは、スピーカーコードのショートや、出力に直流電圧が発生したなどの原因により、本機の保護回路が動作しています。)	まず電源を切り、スピーカーコードや他のコードの接続を正確に処置してから、再び電源を入れる。	-

お手入れ

柔らかい布でふいてください。ひどい汚れは、薄めた台所用洗剤(中性)を含ませた布でふき、後はからぶきしてください。

- アルコールやシンナーは使わないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。



音のエチケット
シンボルマーク

修理・お取り扱い・お手入れ

などのご相談は・・・

まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は・・・

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

保証書 (別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

修理を依頼される時

13 ページの表に従ってご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- 保証期間中は
保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。
- 保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。
ただし、ステレオインテグレートッドアンプの補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後 8 年です。
注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 修理料金のしくみ
修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。
出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ナショナル/パナソニック

お客様ご相談センター

パナは 365日
 **0120-878-365**

フリーダイヤル (料金無料)

365日 / 受付9時～20時

International Customer Care Center

ナショナル/パナソニック 海外ご相談センター

Consultation about products of specifications (export models, overseas production models and tourist models)

海外仕様商品 (輸出商品・海外生産品・ツーリスト製品) についてのご相談は

TOKYO ☎ (03)3256-5444

OSAKA ☎ (06)6645-8787

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0199

ナショナル/パナソニック 修理 ご 相 談 窓 口

北 海 道 地 区

札幌 ☎(011)894-1251
札幌市厚別区厚別南
2丁目17-7

旭川 ☎(0166)31-6151
旭川市2条通21丁目
左1号

帯広 ☎(0155)33-8477
帯広市西19条南
1丁目7-11

函館 ☎(0138)48-6631
函館市西桔梗589番地
241(函館流通卸
センター内)

東 北 地 区

青森 ☎(0177)39-9712
青森市大字ハツ役
字矢作1-37

秋田 ☎(018)826-1600
秋田市御所野湯本
2丁目1-2

岩手 ☎(019)639-5120
盛岡市羽場13地割
30-3

宮城 ☎(022)375-2512
仙台市泉区市名坂
字清水端59-2

山形 ☎(023)641-8100
山形市流通センター
3丁目12-2

福島 ☎(0243)34-1301
福島県安達郡本宮町
字南/内65

首 都 圏 地 区

栃木 ☎(028)632-8450
宇都宮市中央1丁目
8-13

群馬 ☎(027)352-1217
高崎市萩原町沖中
205-18

水戸 ☎(029)225-0119
水戸市柳河町309-2

つくば ☎(0298)64-8090
つくば市花畑2丁目
8-1

埼玉 ☎(048)728-8960
桶川市赤堀2丁目4-2

千葉 ☎(043)208-6011
千葉市中央区
星久喜町172

船橋 ☎(047)334-5111
船橋市本中山6丁目
11-7

柏 ☎(0471)63-8905
柏市北柏1丁目6-6

東京 ☎(03)5477-9780
東京都世田谷区宮坂
2丁目26-17

山梨 ☎(0552)22-5171
甲府市下飯田2丁目
1-27

神奈川 ☎(045)847-9720
横浜市港南区日野
5丁目3-16

新潟 ☎(025)286-7725
新潟市東明1丁目
8-14

中 部 地 区

石川 ☎(076)294-2683
石川県石川郡野々市町
稲荷3丁目80

富山 ☎(0764)32-8705
富山市寺島1298

福井 ☎(0776)54-5606
福井市開発4丁目112

長野 ☎(0263)58-0073
松本市大字笹賀
7600-7

静岡 ☎(054)287-9000
静岡市西島765

名古屋 ☎(052)819-0225
名古屋市長穂区
塩入町8-10

岡崎 ☎(0564)55-5719
岡崎市岡町南久保28

岐阜 ☎(058)323-6010
岐阜県本巣郡北方町
高屋太子2丁目30

高山 ☎(0577)33-0613
高山市花岡町3丁目82

三重 ☎(059)255-1380
久居市森町字北谷
1920-3

近 畿 地 区

滋賀 ☎(077)582-5021
守山市勝部町6丁目
2-1

京都 ☎(075)672-9636
京都市南区
上鳥羽石橋町20-1

大阪 ☎(06)6359-6225
大阪市北区本庄西
1丁目1-7

奈良 ☎(0743)59-2770
大和郡山市椎木町
404-2

和歌山 ☎(0734)75-1311
和歌山市中島499-1

兵庫 ☎(078)272-6645
神戸市中央区
琴ノ緒町3丁目2-6

中 国 地 区

鳥取 ☎(0857)26-9695
鳥取市安長295-1

米子 ☎(0859)34-2129
米子市米原4丁目
2-33

松江 ☎(0852)23-1128
松江市西津田2丁目
10-19

出雲 ☎(0853)21-3133
出雲市渡橋町416

浜田 ☎(0855)22-6629
浜田市下府町
327-93

岡山 ☎(086)292-1162
岡山県窪郡早島町
矢尾807

広島 ☎(082)295-5011
広島市西区南観音
8丁目13-20

山口 ☎(0839)86-4050
山口市鑄銭司
字鑄銭司団地北
447-23

四 国 地 区

香川 ☎(087)868-9477
高松市勅使町152-2

徳島 ☎(0886)98-1125
徳島県板野郡北島町
鯛浜字かや108

高知 ☎(0888)66-3142
南国市岡豊町中島
331-1

愛媛 ☎(089)971-2144
松山市土居田町
750-2

九 州 地 区

福岡 ☎(092)593-9036
春日市春日公園
3丁目48

佐賀 ☎(0952)26-9151
佐賀市本庄町
大字本庄896-2

長崎 ☎(095)830-1658
長崎市東町1949-1

大分 ☎(097)556-3815
大分市萩原4丁目
8-35

宮崎 ☎(0985)85-6530
宮崎県宮崎郡清武町
下加納366-2

熊本 ☎(096)367-6067
熊本市健軍本町12-3

天草 ☎(0969)22-3125
本渡市港町18-11

鹿児島 ☎(099)250-5657
鹿児島市与次郎
1丁目5-33

大島 ☎(0997)53-5101
名瀬市矢之脇町
10-5

沖 縄 地 区

沖縄 ☎(098)877-1207
浦添市城間4丁目23-11

主な仕様

定格出力	30 W + 30 W (40 Hz ~ 20 kHz, 0.1%, 8)
実用最大出力	45W + 45W (8 , EIAJ) 50W + 50W (6 , EIAJ) 55W + 55W (4 , EIAJ)
定格ひずみ率	0.1% (40 Hz ~ 20 kHz, 定格出力, 8)
全高調波ひずみ率	0.1% (40 Hz ~ 20 kHz, 定格出力 - 3 dB, 8)
ダンピングファクター	60 (8)
負荷インピーダンス	A または B 4 ~ 16 A と B 8 ~ 16
ライン入力周波数特性	TUNER, CD, AUX, TAPE 1, TAPE 2 3 Hz ~ 60 kHz (+ 0 dB, - 3 dB) 20 Hz ~ 20 kHz (+ 0 dB, - 0.3 dB)
イコライザー偏差	± 1 dB (30 Hz ~ 15 kHz)
入力感度 / 入力インピーダンス	TUNER, CD, AUX, TAPE 1, TAPE 2 150 mV / 22 k PHONO MM 2.5 mV / 47 k
最大許容入力電圧 (PHONO)	MM 150 mV (0.01%)
信号対雑音比 (SN 比)	TUNER, CD, AUX, TAPE 1, TAPE 2 82 dB (EIAJ), 90 dB (IHF 66) PHONO MM 80 dB (EIAJ), 77 dB (IHF 66)

トーンコントロール特性	
BASS	+ 10 dB, - 10 dB (50 Hz)
TREBLE	+ 10 dB, - 10 dB (20 kHz)
定格出力電圧 / 出力インピーダンス	
TAPE 1, TAPE 2 REC OUT	150 mV / 22 k

総合	
電源	AC 100 V, 50/60 Hz
消費電力	95W
寸法 (幅 × 高さ × 奥行)	430 × 125 × 310 mm
質量	6.0 kg

[POWER] ボタン「 (スタンバイ)」時の消費電力 約5.9W

- 注) 1. この仕様は、性能向上のため変更することがあります。
2. 全高調波ひずみ率は、スペクトラムアナライザーによる10次高調波までの総和です。

愛情点検

長年ご使用の「ステレオインテグレートッドアンプ」の点検を!



こんな症状
はありませんか

- 煙が出たり、異常なおいや音がする
- 音が出ないことがある
- 正常に動作しないことがある
- 商品に破損した部分がある
- その他の異常や故障がある

このような症状の時は、使用を中止し、故障や事故の防止のために、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ (おぼえのため、記入されると便利です。)

販売店名	☎ () -	お買い上げ日	年 月 日
お客様 ご相談窓口	☎ () -	品番	SU-V500M2

松下電器産業株式会社 デジタル AV ネットワーク事業部

〒 571-8505 大阪府門真市松生町 1 番 4 号

RQT4671-S

H0199J2040